

徳向屋集

和歌

和歌雜詠

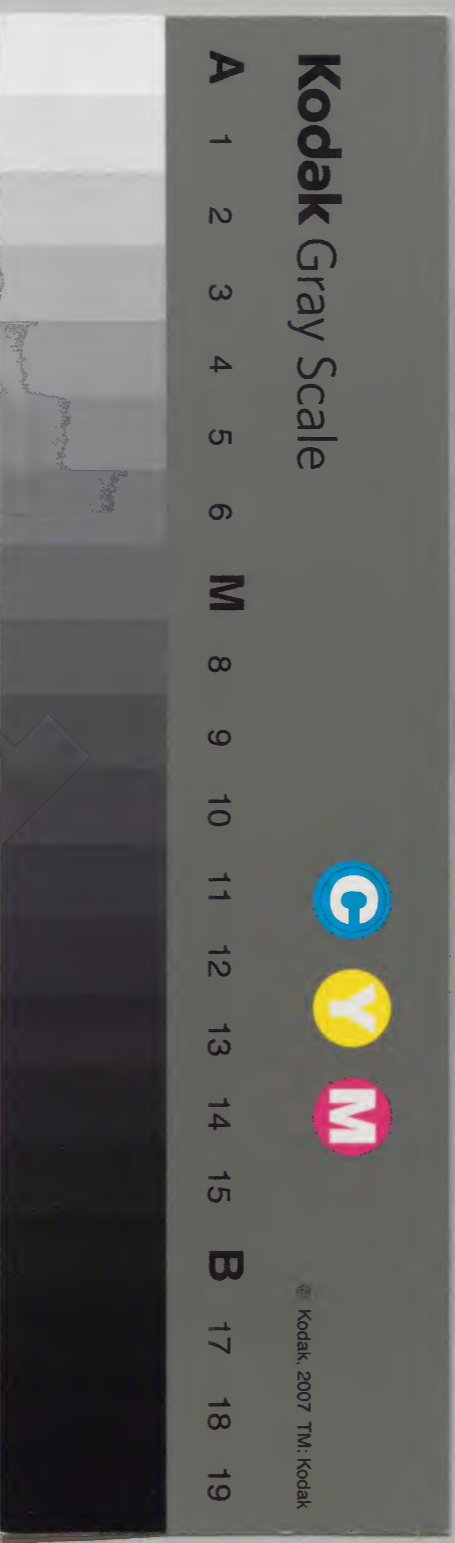
和歌

671

庫	文	閣	内
二〇二	二五九	和	
二一	四〇	書	
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 25490
冊數	4 ( 1 )
函號	201 671

201-671



竹村茂雄詠

穂向屋集

全四冊

万笈堂梓

穂向屋集序

浅草文庫

好種の木より花飛しく水上清きを流し流す。  
おほく何れかかちる物まき有ぬ。伊豆國志澤郡  
然坂村穂向屋翁竹村茂雄五。今八田つらう今まで。  
かこら酒を醸して。那うまはせられてはれとえハ  
武士の家より名ある。武夫ぬまをちありし。元和の  
方列は。新は。沼井のまきぬらうとまき。信濃海の中

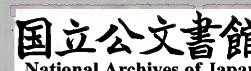
501-071

小島出のそとへは波風音せむるもの境に響か  
業成勤耕かへて彼におなじきそあるも其を  
よらひに十世<sup>ノ</sup>にありんかむつとあはれり  
世の路よりいかなるかゝりなきよらふもあはれ  
公翁もまゝりて世の業しりたむつと日本魂しり  
雄<sup>ノ</sup>こそとていかにいふもよらひに響かむつと  
雅也といふものよらひに響かむつとあはれり

何<sup>ナニ</sup>も家の業を息子正雄とす譲らるゝもの  
穂向<sup>ホムカウ</sup>をみぞるもの業よ其の成老の業みとす  
いかにいふものよらひに響かむつとあはれり  
彼もて既に板本の成まゝり人の業をいふも響かむつと  
おはれりいかにいふものよらひに響かむつとあはれり  
書いかにいふものよらひに響かむつとあはれり  
ふいかにいふものよらひに響かむつとあはれり

よりをも。文通を絶つ。溝をくわむ。と。廿二月  
廿六日。いかに。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。

猶。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。  
あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。あつ。



春の集りては春の集りては春の集りては春の集りては  
春の集りては春の集りては春の集りては春の集りては  
春の集りては春の集りては春の集りては春の集りては  
春の集りては春の集りては春の集りては春の集りては  
春の集りては春の集りては春の集りては春の集りては

弘化二年八月 伊勢飯高殿村安守

穂向屋集一之巻

春哥

年内立春

竹村茂雄詠

こはとのほすわが春のこはとけきをけりよわが春も立しけりわが  
とこはとけきよわが春も立しけりよわが春も立しけりわが

立春

いさななほじかしかけりなほじかしかけりなほじかしかけり

元日

けりわが春の集りては春の集りては春の集りては春の集りては

正月一日の日のとめり春のいと春のいと春のいと春のいと

は春のいと春のいと春のいと春のいと春のいと春のいと春のいと

老後初春

春哥

六ひ貴かみふとふ家きこふ事しつわかやけは家そらけかうが  
初春霞

は春のいろかきみけわれ雪のちを流すひををう流山のは  
志かきかき流すけひを流す流すけわわのまゝかきひか

子日

ひめをすのうを流すくふかきかきかきかきかきかきかきかき  
字かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

茶日祝

若かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

若菜

みとかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

待鳥

あひのこをさすらうかきかきかきかきかきかきかきかき

朝鶯

かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

野朝鶯

風さひみふとけあかきかきかきかきかきかきかきかき

小家鶯

ふせとふあかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

関路鶯

かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

菴中鶯といふこと

かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

梅

かき作ふよほけい(家)よとめくはひ(夢)の家を眺はれさきふなり  
あふ(と)よなほ(と)ほく(と)あみん(家)の末かぞは(と)つじ(と)

正家梅

ふ(家)のかきね(子)は(と)雪(と)さ(と)家(と)か(と)る(と)た(と)き(と)あ(と)か(と)ぞ(と)の(と)そ(と)

山路梅

ふか(と)ぞ(と)よ(と)の(と)け(と)わ(と)の(と)吉(と)み(と)え(と)く(と)家(と)め(と)か(と)え(と)か(と)老(と)心(と)に(と)は(と)純(と)潔(と)を(と)み(と)ら

月夜梅

おほ(と)の(と)り(と)は(と)れ(と)よ(と)ひ(と)わ(と)を(と)何(と)そ(と)ら(と)く(と)家(と)め(と)此(と)に(と)老(と)急(と)く(と)ほ(と)ふ(と)き(と)か(と)け  
ほ(と)れ(と)子(と)何(と)ぞ(と)く(と)よ(と)ほ(と)れ(と)よ(と)か(と)き(と)月(と)か(と)ぞ(と)花(と)も(と)お(と)ほ(と)れ(と)純(と)潔(と)は(と)の(と)梅(と)か(と)え

梅葉風

ゆ(と)う(と)た(と)ふ(と)く(と)と(と)た(と)え(と)ぬ(と)は(と)か(と)き(と)の(と)家(と)め(と)か(と)さ(と)く(と)家(と)中(と)の(と)ゆ(と)く(と)純

梅香苗袖

何(と)か(と)ぞ(と)わ(と)く(と)よ(と)ほ(と)れ(と)の(と)神(と)を(と)み(と)よ(と)め(と)お(と)も(と)か(と)を(と)さ(と)ぬ(と)里(と)中(と)の(と)う(と)め(と)か(と)え

夜思梅

は(と)の(と)夜(と)を(と)や(と)み(と)し(と)わ(と)れ(と)ぬ(と)家(と)め(と)か(と)よ(と)み(と)え(と)ぬ(と)い(と)は(と)人(と)お(と)も(と)か(と)ぞ(と)う(と)の(と)

梅のほれおもく(と)る(と)く(と)人(と)の(と)と(と)れ(と)き(と)わ(と)け(と)は(と)

は(と)れ(と)く(と)も(と)は(と)く(と)そ(と)の(と)家(と)め(と)か(と)き(と)わ(と)は(と)れ(と)の(と)に(と)よ(と)わ(と)と(と)お(と)も(と)く(と)は(と)純(と)潔(と)わ(と)ら

三津の菟原神の社子母早(家)の中子社頭梅

よ(と)ほ(と)れ(と)何(と)れ(と)そ(と)め(と)か(と)き(と)と(と)も(と)な(と)ほ(と)こ(と)ち(と)あ(と)く(と)は(と)純(と)潔(と)を(と)み(と)ら(と)の(と)家(と)め(と)か(と)

去年のは(と)月(と)お(と)も(と)く(と)る(と)け(と)り(と)け(と)夜(と)を(と)み(と)ら(と)と(と)も(と)な(と)ほ(と)の(と)花(と)み(と)ら(と)

春の(と)こ(と)も(と)お(と)れ(と)く(と)る(と)け(と)り(と)け(と)は(と)

あ(と)ら(と)わ(と)れ(と)く(と)み(と)ら(と)お(と)か(と)き(と)月(と)か(と)ぞ(と)は(と)れ(と)ぬ(と)か(と)の(と)は(と)の(と)夜(と)の(と)よ(と)ほ

三島の武井稻(家)め(と)も(と)よ(と)め(と)け(と)り(と)け(と)ら(と)ら(と)ぬ(と)中(と)の(と)あ(と)ら(と)ら(と)

とをさうめの花みよめわくると思ふとけけ社と何れかへ  
そく花の宮のふいねをさうけくとみよめるときをさうくとそく

落桂

きえ跡る雪もよみ止し空の如くあめあめかきよむるの如くゆく

柳

よめくみよ人のうねをやめしきよむるの如くゆく  
水のお水の如くわがけかきよむるの如くゆく

水邊柳

けかきよむるの如くゆく  
水邊古柳

水邊古柳

とふあわしをわがけかきよむるの如くゆく

野徑柳

けかきよむるの如くゆく

雨中柳

けかきよむるの如くゆく

柳風

けかきよむるの如くゆく

春雨

けかきよむるの如くゆく

小家春雨

けかきよむるの如くゆく



残雪

餘寒月

はるのきのこいすのけしきぬねむねむきぬきぬきぬ雪のみゆりた  
はれくきの雪けぬくきよき月のかたきこもぬはるのやまかえ

雨段

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

原霞

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

行路雨霞

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

雨霞添ふ色

遠山雨霞

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

連峰朝霞

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

雨霞菴水々

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

かきぬきぬ日とほくくちとわわわ

若草

はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた  
はるのきこいすのけしきぬねむねむきぬ雪のみゆりた

日おとさけかゝるわつとくえりりーものあはの里人のそすき

はるさあまの治のみとわやーけさむをわのそさくへ原のほせゆく

とる人のほろひをよれまかまけきけき花かみまつをさく

何ぞぬーわきの字にきさへつわさーわいをさよかをる字あか、

おほの上れつきたかきみおくたひく花よりーらむはるのほせほの

こゝれ末のそとわわくさけはれのことゑ何をぬくはるのほせほよ

ほのくとまをほろくよこくまよさく花ー乃きみよーの、あま

岡若草

春日祭

春曙

山家春曙

名取春曙

花

おーか好たさるーらみくほのくとみとわよかまの三係のおのほ  
ほすまよのこすゑもぬらむかまはれの上ほほぬあおのはもれー  
ほのくとさきこのほれのおまかまかまをわけぬあまのはきぬー  
みますくまわ結そまをまをたけけけはれまらるのうけうはるの、  
ほくまともむわぬーをれいささく花いとくえ解ぬへ原のそれゆく  
あかのあつるまはまそりそんー花よそのへのさかりそさーそ

待花

何ーいといふれとまをささくままといはれまのほとのほをそ花とまき  
まのみ何れや日かまかまねーいーかと花まのまはまぬらむかま  
そくとみーはれの上ぬらむのねきくわわの家まぬのまをまをま

尋花

はれを思ふよかきうるまゝうたわわを家や木のわくを古のわ

元花

ゆくまゝよこぼれか〜〜ふまうはれを思ふを思ふかを古

暮見花

うちむかふ花のひかわの〜〜人子ゆか〜〜上宿のをみそののそ

馬上見花

木の古とくはのわかろよこま〜〜うるまゝか子はれをみるか

田夫見花

か〜〜人子田者おほれと〜〜はれの木の古とちかみまはよは〜〜あ

老後見花

うちよわ〜〜いさわうるまゝをぬくま〜〜んはれを思ふを思ふ〜〜はをわ〜〜り  
切き糸のはれを思ふを思ふを思ふは〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は

うらむかひのなをはれよわも〜〜空きゆ〜〜よま〜〜んぬをきく〜〜や〜〜り

曙花

ゆきあ〜〜か〜〜まのこま〜〜い〜〜な〜〜ま〜〜を〜〜り〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は

夕花

かま〜〜日のひかりを花の〜〜の〜〜つ〜〜ま〜〜ろ〜〜く〜〜品〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は

暮山花

よほ〜〜のそよ夕日のかたの〜〜ぬ〜〜れ〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は〜〜は

月夜花

ゆきよあ〜〜く〜〜うちかま〜〜ぬ〜〜る月か〜〜よはれ〜〜も〜〜おほ〜〜るのは〜〜の山のは

あつらへ地は風のひわたり流きもらぬ未かやもかぬしおぼろよはれそ  
月さよみとや木の根のこのおよりわかぼろよもさぬかやもさうしはれ  
おぼろよの月もさおきくさぬかぬとさぬのはれのひわたりをそみ  
とらぬわく月のひわたりとさぬのさぬはれとさうさぬわけわ  
はれとれはれおぼろよのさうさぬよひわたりとさぬのはれのしらぬ  
霞中花

雲間花

さくはれのさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬ  
わく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく

雨中花

さきくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
はれとれとれとれとれとれとれとれとれとれとれとれとれとれとれとれ

雨後花

さくはれのさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬ  
わく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく

風前花

さくはれのさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬ  
わく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく

盛花

さくはれのさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬさぬ  
わく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく木のわく

山花

白雪若わたりし花よをちかしくはれしはあやうくみよし花はく  
あはれよまきことくはんおほの気はれよあおくのこねかーらるるも

遠山花

雪をこけくもをけつたよほふゆのかきみ花おくのやまはくはれ

嶺上花

こねあさるくもねとこれきまのあゆみそよそのゆふはくはりけあ

山路花

けさこの花そのこすきもわかぬまはれはききそはのほのやまを

山家花

山あかくよほよさうもわけの花はあかすよまの家はくはあか  
あかまきよはれまことまのちまきくひとあかあか山あけのまこと

拙花

そま人をしらぬあちちの上はあまきくもあまあかたはくはまき

河上花

いほぬまきまのほろよまのまきく花のひまぬくはのやまおと  
よー望川はぬのーたかたかきまのまきく流る人まきぬいぬのたけは  
まきまのたかたかまはれみまらまのまきまのまきまのまきまのまきまの

水上花

かきつひ花のこすきまあねうまきま、ほふまきままきま

隔川花

たかたはのまきまのまきまのまきまのまきまのまきまのまきまの

二月の末つし田原の浦あま花をまき

まきまのまきまのまきまのまきまのまきまのまきまのまきまの

古寺花

花の世を春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を  
きくはれはけを春とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を  
くも空の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

閑居花

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を  
花を春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

行路花

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を  
花を春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

出逢村花

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

閑花

花を春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

庭花

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

よかこかーはれを春の心とてえはれを心を結へのはれも空かたうー身を

花下會友

花下會友  
花下會友のき花のさよふおめーさうのさよ、きおさう  
わだつたをほれよわ深かの一か人おはれぬおお何ふふよー結、お

夕花留人

夕花留人  
昔て好日をおとめく何と流る。ひと花か（きお申おせ、せやう

依花待人

依花待人  
ちかおとちかちか一人のよれおはれぬのさめさへるあくおき  
わがをきみおををををををををををををををををををををを

帰路思花

帰路思花  
おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

夜思花

夜思花  
言の、とさ夢とわわわは。のよれさうおお花の何とわはれは

おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

雨夜思花

雨夜思花  
おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

松間花

松間花  
おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

櫻柳交枝

櫻柳交枝  
おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

恒櫻

恒櫻  
おおけおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおをちかおを

枚の馬場といふ所の花はよおわ

こはまきのふおはのさうわをいれはくらくもみ結るちこそまは  
山伏塚といふところの花のことも

と人老葉やうとわさきまほのふよ一つおのはれのーさあー  
時ほこ山のさくらをみる

宇ちおほおかきみのさくまき花のほおわぬさるーつはこのは  
益山といふところの花はまわらぬ

あやせぬか、さく清き山みちもなほ申あまのさ分つ、ハくは  
おれーとき長平秀世れとほとよわーまはきけれ者

あふとらおまひのほおまき河原つ、おまふまはぬくはれをみるおは  
わかき人こよー葉の花見まわわけなとき

けさこぬ花まつりまきかまほーまーまよくみくわつれわがさ  
おまふの花のさよふづく 結くみかほのねいさる花

さわこそおく家まの何うまよと一あまをさ清くおをけれは  
こまはねろくまはまおろぬん何れまはまはまらまら

江川美のことまほわうまつわくこまの、花をみる  
けまといへたまはおきくまきまほみまの、はれを何まきとまみ

花将散  
いかわれいそのへは清うれおき日よるまみわくあまどとまらん

惜花  
はろはれうの乃ふまを人のそーおらぬまいなるよまお

は落花  
宇ちのまはれあふのまきーまお清うれはれはれあまらぬ

惜落花  
おまぬくもちあはれをさーおはれおきあの一乃そのまおまみ



そととおもふらるる一れく春休る花も春木の世と春あけのつゆ

花落客掃

あはれなくおもふそとと春と春木の世と春あけのつゆ  
はわかまぬおぼえの春と春の世の春あけのつゆ

花未定

わかたておぼえの春と春の世の春あけのつゆ  
いと構ひ字のつゆをみ

まよわくは木のつゆと春と春の世の春あけのつゆ  
花も春木の世と春あけのつゆ

山吹

山の井底をみまきと春と春の世の春あけのつゆ  
いと構ひ字のつゆをみ

いと構ひ字のつゆをみ

何人のかげの山吹をみ

いと構ひ字のつゆをみ  
三月の末のつゆと春と春の世の春あけのつゆ

うと

いと構ひ字のつゆをみ

春雨

いと構ひ字のつゆをみ

少春雨

いと構ひ字のつゆをみ

花下春雨

池あり、はれののつこいなるおわくおきこす急の雨をそそぐ  
字らにわくはれののいなるのこゝおきこす急の雨をそそぐ

暮山春雨

うらやまおきぬくくゆわくはれのこす急なは。そそぐ  
そそぐわわううやまおきぬくはれのこす急なは。そそぐ

海辺春雨

いとよまのこす急なは。そそぐ  
いとよまのこす急なは。そそぐ

江春雨

あわやまのこす急なは。そそぐ  
あわやまのこす急なは。そそぐ

幽栖春雨

はるさめをわくとよまのこす急なは。そそぐ  
はるさめをわくとよまのこす急なは。そそぐ

故の春雨

とんがりのこす急なは。そそぐ  
とんがりのこす急なは。そそぐ

春夜雨静

おのろおめおきぬくはれのこす急なは。そそぐ  
おのろおめおきぬくはれのこす急なは。そそぐ

春月

いとよまのこす急なは。そそぐ  
いとよまのこす急なは。そそぐ

春月

いとよまのこす急なは。そそぐ  
いとよまのこす急なは。そそぐ

幽栖春月

清涼くとはれよわづらわきよはれつきをよもはらふよきふれぬと

海辺春月

水へそをなみよおきくうらなれよわづらわきよはれつきをよもはらふよきふれぬと

帰雁

さきくちを空をそらうとはれつきの春のよもはらふよきふれぬと  
いかたは月と雪とのときをへつはれのこころよわづらわきよはれつきをよもはらふよきふれぬと

雲端帰了

いつかよわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

燕

春をよけるのきほのひれのさつくりそらうらなれよわづらわきよはれつきをよもはらふよきふれぬと  
かきはれつきのわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

雜字

ことをもよみよわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと  
わづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

雲雀

雲雀よわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと  
わづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

春駒

春駒よわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

遠見春駒

遠見春駒よわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

遊系

遊系よわづらわきよはれつきの春のよもはらふよきふれぬと

遊日

くぞくそはぬわねはつらきうしりきつれききほの日記をを  
ふりあひのそのしりあひあはれのぬかしり日をたふくくらしん  
ふちのふはのさうのちあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
あまのふあふけあきりあしりきつれきき日とふらふけのうぬ

野遊

ふくかたうしりあひあはれのぬかしり日をたふくくらしん  
あまのふあふけあきりあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
三月の十日におふらふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
とふらふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
春の山あふ  
とふらふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ

春日遊諸家園といふこと

はなをめぐるとりきつれきき日とふらふけのうぬ  
いふはふあふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
菫

閑庭草

はらさきのおはふあふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
あまのふあふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
つみふらふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ

菜花を

はらさきのおはふあふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ  
あまのふあふけあしりきつれきき日とふらふけのうぬ

蕨



をききつ。けつをいほのび。ふく地きはのやま。わがをのび  
くはぬとくつ。み。まわ。ひ。つ。さ。か。ち。さ。う。く。な。は。の。や。ま。人

樹陰巖

おちのよ。な。杉。の。か。た。を。を。か。き。わ。さ。く。か。つ。く。も。ゆ。茶。わ。ひ。を。と。は。じ

尋巖折花

は。各。の。や。の。か。と。み。み。つ。り。ま。わ。ひ。よ。さ。り。さ。う。く。な。ま。ま。の。は。の。は。れ

樵路躑躅

あ。は。人。の。お。い。な。が。も。よ。あ。の。こ。つ。を。さ。ち。さ。は。各。の。や。ま。み。ち

桃

こ。地。を。か。を。い。ふ。な。藤。の。ま。い。ひ。う。ん。せ。の。は。や。の。お。く。の。か。う。れ。か

三月三日 益とく

手。ま。く。わ。く。よ。は。れ。を。地。う。ん。こ。な。年。子。初。と。ふ。も。の。花。の。さ。か。つ。き

曲水宴

茶。の。と。こ。い。は。の。ゆ。う。ま。ぬ。み。居。つ。水。ま。う。き。は。の。ぬ。く。茶。を。と。ま。つ

梨花

心。あ。わ。く。い。つ。も。も。は。は。各。の。水。の。は。れ。よ。う。ほ。お。よ。い。な。も。の。う。う。は

苗代

な。は。け。一。な。よ。お。も。る。お。田。の。水。を。さ。う。け。き。よ。ぬ。の。い。ま。の。ゆ。を。み。ら

雨中苗代

な。は。け。一。の。水。を。さ。う。な。よ。ま。お。せ。ん。と。ほ。め。よ。を。わ。う。り。さ。の。お。ほ。ら。を

蛙

地。と。け。い。れ。わ。わ。ぬ。の。春。の。う。き。け。い。ま。は。を。か。は。の。の。れ。く。若。を。と。さ

藤

は。れ。ま。と。う。な。藤。よ。う。あ。ち。を。つ。ま。ひ。つ。い。は。ぬ。よ。わ。い。な。藤。の。は。れ。を。

藤鏡庵

初より春を思はせむきをわらわつゝおはすかゝる一汁の春めみ

春海

そよよとつゝいとゆまのそよよとつゝゆまのゆまのゆまのゆまの

春浦

くわがくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

春川

わさわのひなみよくけくはかたのこぼれわらゝは。わたり川

お上のこぼれおのこぼれおのこぼれおのこぼれおのこぼれおのこぼれ

春望

さくはぬのおもかきこのまをわつゝお望みおのまをさくはぬのおもかき

お望みおのまをさくはぬのおもかきこのまをわつゝお望みおのまを

水に春望

けふかきよきりのやれきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきり

江山春真多

おけきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきり

春朝

とくおきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきり

おきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきり

春夜

よみきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきり

春夢

みりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきりいりきり

春夜閑吟

おきふらはれみよほかるのしるしをわらうまのよはとらのき

春動物

竹もよへはれはほそくほそくほそくほそくほそくほそくほそくほそくほそくほそく

春の雷つと人の汗よひひやあけ

いもをんあまのはれもあはれくはもくはゆくおあけのきと

春欲暮

なつこるもあつとちかみほのきよかきみのきとぬきやものうん

暮春

なま、おあはれもよとまうん花はちり柳のきゆをひらくわはけは

暮春月

ほささくわさくもいよふくけうあわおはせいづあはれものよのつき

暮春風

ちあはれそきをいづとこきよくおきもみとわのけれおのふのそ

暮春霞

むらぶあわおはまはねくそちのあまわねも終るあはれおきもあはれ

暮春海

なまらうははさきちあはれのはれもあひくはけあはれのきとあはれ

あよあはれつとこも終へてあはれ人よ

あともあはれもあまあはれをそきみんいすいんそあああ

二月片

あきくちよあはれはれのあまをいづくそをいづはれのあらん

二日のつとまの日西山の横のきとあま

三月尾雨

雨かたけをききて人ほめしきくはれはるのわさりのけしのうらた

二月尾夕

はくくとくはれをききてそよよふはるのけしのうらた

夏哥

首夏

けそふたをけふとほそはる空のたかく花もわかぬもちのわさりは  
花のわのたうわもちのうらたをききてそよよふはるのけしのうらた

首夏月

花の山のわがはのうらたのうらた月かたけをききてそよよふはるのけしのうらた

竹亭夏末

花ちりきけりあいのうらたのうらたはれをききてそよよふはるのけしのうらた

春のわさりのうらた

はるさけよはれもわかぬもちのうらたをききてそよよふはるのけしのうらた

三月のうらた

とよわもせんといひもきわはる人のうらたとそよよふはるのけしのうらた



四月一日その人絶許すのみやとて捨てしよかきりけ  
けりしときみまのほとよけりてくちきわもおねたのききり  
とれこかー山のけりたけりてくちきりしけりし  
春後思花

春後思花

かきりみしとよかありしけりてくちきりしけりし  
更夜

更夜

きり花のけりしとよかありしけりてくちきりしけりし  
志人惜更夜

志人惜更夜

はれりしけりてくちきりしけりてくちきりしけりし  
送春如昨日

送春如昨日

みり花のけりてくちきりしけりてくちきりしけりし

餘花

よか人のけりてくちきりしけりてくちきりしけりし  
尋餘花

尋餘花

よか古のけりてくちきりしけりてくちきりしけりし  
深山餘花

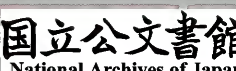
深山餘花

よか古のけりてくちきりしけりてくちきりしけりし  
残花

残花

よか古のけりてくちきりしけりてくちきりしけりし  
行花

行花



陪々へ一也へふなきわちわはて、字のはぬ一なきまの一はなき

谷灯花

谷不かにそくあわさるそのさこま一なくさける花のきめりけり

新樹

すとおかきあつくえくらくめうまけあまはのけしはかぞけわりの

まらまらのはらのかきみまけへくわははつとつあまのとほやま

山新樹

花ちあまのそはけわぬえち木のそのことととまうわかぬちう

庭新樹

庭まふとまはのまうはけわぬく木かぞのこけまあそひり

夜新樹

わかほくわかまいひねとけん花まいとけり一なるめりけり

新樹坊月

てあ月まひりわをそへ一はぬちわくわかまもくま谷危の木のま

郭么

少くこまをそねかこくそまほとまぬくよ高まあけやまほくま

待郭么

あまのまのまあまあまほくまほくまほくまほくまほくまほくま

ほくまほくまのまあまほくまほくまほくまほくまほくまほくま

雨中待郭么

まみまのほねぬわわまほくまほくまほくまほくまほくまほくま

ほくまほくまのまあまほくまほくまほくまほくまほくまほくま

志後侍郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

弄郭公

い法かよふしつねかぬしん清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

夜郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

曉郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

雨後郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

山郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

渡郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

船中郭公

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

郭公何方

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

郭公数声

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

郭公頻

清くきんちやうのしんきくちくせよひよわききりき者のねとを

鄭公早過

清々きけちあらはるゝ水もたれおきくのくきもをきくお上はのひとま

そのきやまはのほとみらわたるゝ谷もをきく清々きけ

尋僧失途聞杜鵑といふことと

おみおよふくもあもをきくけのほけとてたよはめやも清々きけ

早苗

きけあうーさかのけうそけおたのことのさぬへきけけけけ

よのきもかわけをぬくよかえよあれをきいけくさぬへきけ

空あけとてそのわか苗よくおせよ清々いけきけきけのわかぬきけ

雨中早苗

あゝおめと田もやわわんおきききききききききききききききき

あゝおほほいとまゝもぬーとあゝおほほとあゝおほほとあゝおほほとあ

海辺早苗

さみさみおとけのけあもえおわーけけけおほほとあゝおほほとあ

おまのまかーけおれとあもこのさぬの家あつーきぬへとあゝおほ

と田といおとあゝの里人彌田の早苗とつよきをよめといけおれい

いそらおきおへとのさぬへとあゝおほほとあゝおほほとあゝおほほとあ

苜蓿

苜蓿

橋

夏奇

〇五

河内をくはりてはれぬの一事書すはけりてのきのかせかきり

故心橋

神の別名にわかれはるくをち花のこをちこけははるきよのまは

橋葉袖

御衣にわくをそよをわらう河内はれそ切の能きあまらる

橋葉枕

能きあまらるはれをまはれぬの事かまかをけり為の申あのをまら

五月雨

けり、かといれをまらるるのまのなまらるるをみればれと

けりまらるるをみればれとけりまらるるをみればれと

朝五月雨

まらるるのまらるるをみればれとけりまらるるをみればれと

五月雨

このけりまらるるをみればれとけりまらるるをみればれと

五月雨

まらるるのまらるるをみればれとけりまらるるをみればれと

五月雨雲

河内をくはりてはれぬの一事書すはけりてのきのかせかきり

五月雨鐘

河内をくはりてはれぬの一事書すはけりてのきのかせかきり

五月雨欲晴

まらるるのまらるるをみればれとけりまらるるをみればれと

五月雨晴

まらるるのまらるるをみればれとけりまらるるをみればれと



水邊夏月

夏一らぬおれ一友とわと好まひもきく一ききりのつきをわけり  
夕月のまじり一きかきをたのしむやう一をうまのまのまの  
おとくおとそをばあかしく好まか井ゆまれおとそをうまのよのき  
船中夏月

水邊夏月

夕月をまほのまのわのちまのうまのまのまのまのまのまのまの  
夕月をまほのまのわのちまのうまのまのまのまのまのまのまの  
夕月をまほのまのわのちまのうまのまのまのまのまのまのまの  
夕月をまほのまのわのちまのうまのまのまのまのまのまのまの  
夕月をまほのまのわのちまのうまのまのまのまのまのまのまの  
夕月をまほのまのわのちまのうまのまのまのまのまのまのまの

六月十六日の夜月をまほ

瞿麦

庭瞿麦

夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの  
夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

雨後瞿麦

瞿麦勝衆花

夕の神まつあまのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

夕露のひかりもさびしくさうよへきはぬちの里のやまとぬきこ  
まくよへきいなきもほひもなつのはなを人びつせぬきこのはれ

夏草

うちけらるればほのねをひききやまのくろくけりぬくは  
くくきくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

経夏草

いかにくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

行路夏草

あけくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

野亭夏草

あきぬくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

水邊夏草

あけくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

鶏川

あきぬくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

水邊草

あきぬくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく

江上草

あきぬくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく



橋邊堂

田家堂

やうけしゆくまよみかをみしつてほろとれわるるものた  
ほめはく田つるのわさる月くきいほの地まはをよほるるわ  
袋の堂といふてを

照射

もゆふ火をくわくつとくまはつるのまをよこにまほるるけり  
照射  
きふふかとうけの木のまよはくを移くやふふかといふとま  
まよふまほりけみわをいふほりまほるるまよふまほり  
よまよかみまほりまほりまほりまほりまほりまほりまほり  
連峯照射

まよいむまよをいふまよまほりまほりまほりまほりまほり

疎屋夕夜

まよまほりまよまほりまよまほりまよまほりまよまほり

蚊遣火

まよまほりまよまほりまよまほりまよまほりまよまほり

遠村蚊遣

まよまほりまよまほりまよまほりまよまほりまよまほり

蓮

まよまほりまよまほりまよまほりまよまほりまよまほり

氷室

まよまほりまよまほりまよまほりまよまほりまよまほり

夕立

まよまほりまよまほりまよまほりまよまほりまよまほり

夏哥

○十

高きかゝくはなぢきく〜ついで口のぬらうもだののぢぢのぢぢぢ

遠夕立

やがてこよわき法そつ〜むきぢぢぢの〜ぬき法ぢぢぢゆぢぢぢぢぢぢ

市夕立

ぢぢぢ〜ひ〜ぢぢぢぢ〜つ〜ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

園路夕立

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

蟬

ぢぢ〜よ〜ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

滝区蟬

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

馬上聞蟬

こよとめ〜つ〜ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

崩

崩のぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

いぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

何ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

お〜ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

〜月のぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

法師のぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

泉

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

泉邊過友

何れもよとおれしなほいとくついにあはれしうきつねのほきりたり

納涼

とよき花をみよきつとぞはのかどこそおつのみみかぢわかれ  
花のいしの空のたしかとららぬあはれいしあかけよおきそとくう

社納涼

ときか好つと春日のいんあはれときか好つと守の中よのーおかか

松小納涼

ことろ者よおとよふをわいのまのあきよおつあはれはわかれそと

樹陰納涼

あしらぬちうの木かやよきうとせをうたようとさうかぞせうぞう  
やけぬのそけいとうりのてせはうらなのおかやよーく木のそれぞ

水邊納涼

立ちぬえをのたぬのまのあはれおきききーきかをさのねとそとく  
たかかたのうのあはれしよおとのたれとさけをさるおきさきーき

新竹

さうーらぬあめとききききわかすけのあきさあはれよのほさかぞ  
ーおひのさきよあかあききききあめとつらなまのーまのゆ  
せきくくみわくをほよとーおれのあきあのをさあきこほり

真風

あしわあつとくとほくねあわわけのあきさいる、ちののほさおき  
わかすけのまかきとせきくうなとあをわよまわく屋の申あき  
ちあけぬのまほれとくー申あへよあきときまあのかせをさうと  
あきくくとあいによほをかかきとさうかきたおとをさあけあ

夏朝

夏朝

春をわさよそのをくまのほそくありやわをまのまのいれをきくき

夏夕

ふそねのふい乃もこころおのりよはれをきくききりのゆかわか

夏夜

てわー口のなまわもぬのゆふのけくぬそよとのいけらちあけな

山家夏真

よひこわくきくきかきよかやわをきかぬかきぬのゆふのゆふを

六月秋

きくきたよとのみかえくぬえんのぬ、ぬつきのけくきくきぬこ

貴賤夏秋

きくきすもぬのふかきくききくきぬのきききききききききき

秋哥

初秋

きくきよおとく結むるききおき木くぬいぬきききききききき

いっくかとことくもぬかきぬのいけらくきくきききききききき

くけのけのききぬききききききききききききききききききき

初秋露

けきき初秋きききききききききききききききききききききき

初秋風

袖ききぬのけりぬをきぬのけきききききききききききききき

あさいききのけりぬとぬ七月一日

あきかききききききききききききききききききききききき

けききききききききききききききききききききききききき

早秋月

かげきよき月もそほきくしらすたす。宿のすゝねをそこの空へりて

早秋山

あささぬこを急りしは秋の心はを寄みぬせうなやあの一をわ

野徑早秋

きつふおと日かたもよほし一庭一このほを寄あしは里へのほきわを

幽栖秋末

あはれ。ゆゑいほくすのねくうききもたあさかおとさくは秋おきそおく

とれくやとこいしほおと生なぬくくをきあはさくは河きのはのかを

七月はわあなち内許しよみくつおとけあ

いほくおとさくもれかたをきぬおとをきくしきかのくあしはれく

七夕

いほはわあなち一切んきぬさのきぬちあきほおのわはかき

七夕雲

空きくもくろくはわくやあおきよのほくはのききんしはれくすん

七夕河

ほおの川もあきくしはわあきぬほをきあひまよときやうつくと

久かしのほあのおほくそあくおのきあもかきくまひよくもあれ

七月お出つりあき

おらわおあはれはあはれきよのあくあよときくそはよりのあはれ

秋

てわく日のよのあおあきよそよきつしそきこそほきの風をきをれ

深夜萩

ねをいれを好いのをきぬおとほれはあはつきあか風をきつん

江田萩

ふくかよふれき〜入江のむらさきあそよ〜ゆの〜ふゆあそん

萩

ひかやのわとよわさきよほきあいのをきよみせら〜あはのむらさき

庭萩

ほくかぬきよこのをけきの夕かきよは乃き聖山のゆをを〜あ  
ふつ〜うあ〜あはの小萩をあ〜かきよ〜あのをと〜あ萩のふきと

閑庭萩

ほくかぬきよあはたけあわだ〜とよはとぬきよこのゆはき

秋露

あよわみきか〜あくもあゆみはきあを息えのあそ〜ゆた〜

秋映水

とよあに〜あきよあゆき〜あゆみあはあはのゆあき〜のあきはき

霧中萩

あ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ

萩

あきわ〜あきよあゆみのあきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ

路萩

あきわ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ

萩風

あきわ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ

閑庭落

あきわ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ〜あきよあゆみ

つらとみくらすくらとて花をさかすまのふく茶にとて花をい

女郎花

君も子もわがよめはきくをみれへしみる、聖人を何れぬけり

女良花

女良花もきくの花のすゝまゝとて、わがわが花

閑庭蒔萱

山かけの草もみちのわがわのこゝろへて何れとみよとてかぬ

く茶人もおぼえぬよそのかゝりやもかゝるもさかしくものいふ

雨中横

けさこれときりの切らぬ花をみよとてさかすみよとてかき

葛

さくは風のいふを言ふとやうき花を枯らわすて花をさか

草花

君もさききわもそよつ、おきの聖者花のよほさぬ草の花を

夕草花

夕はえのほ風望三すかかへぬもさかす花もつぎとえぬ

草花映月

て各月のよほ花もそよつ、おきの花のよほさぬ草の花を

草花昔秋

秋のわくさよけ花もをすかすのよとて聖人をかきけり

風動草花

らも花もさくは風をかきぬよふかき花へしら茶、おきの花の

草花非

いはれとまわけの、いらむいふ、よほ花のよほさぬ草の花を

秋奇

〇日

雨中華花

おらそめの一つくはけぬのかをそくならきんどのうり人の中へは  
行路草花

くは申かへ月七お深えんおきありのちくはけぬそくたひいさか  
秋野志帰

露

おとせとさ山へおかへるさきかのかおはけぬはぬはぬのほさちか  
田上露

故心齋

おきわらおほとそんえんいあへおきおきえんわおのうへり  
おれはくいおたおほらあへらおのあへきわらぬあへるあへる

月景虫

望人うく月のひわわのうへおほやあみんたむのこまへ  
庭虫

閑庭虫

おひのあわいそぬのまおはれおほはそおはへわあけあ  
ことおらよおさちけおぬおとておまのあへの音おれへておこ  
おひおまのおまおれおまおまおまおまおまおまおまおまおま

叢虫

おひおれおまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおま  
おまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおま

深夜虫

おひおれおまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおま  
おまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおまおま

旅宿虫



あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

野亭虫

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

旅鼓聞虫

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

古壁虫

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

秋夕

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

山家秋夕

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

閑中秋夕

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

海辺秋夕

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

秋田風

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

海辺秋風

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

夜野分

あつとささふるをみよのけぬあかきくはのあつとささのけぬ

霽霧

かきほゆるさおまのうらむらひにほろほろかきほゆるさおまのうらむらひにほろほろ

曉霧

そはれよた日かたみほろけく山もよきわおてもけの何れつきのいなる  
ふのう、空の上ははくきめの上も何れかほくきめの上も何れかほくきめの上も

山路霧

さきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつと

行路霧

さきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつと  
さきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつと

浦霧

さきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつと

河霧

けしそらさわのさえさほのくとさわのさえさほのくとさわのさえさほのくと  
おとつなははれはの原をうつとれさかきまねかか、さよおのおえさ  
こまね様さよまきさよまきさよまきさよまきさよまきさよまきさよまき

鶉

かわくほれをかのわきとんとおれくくさあくおきおうつとれくく

鷹

そらさちしとちのいつとさきさちしとちのいつとさきさちしとちのいつと

月霧

さみわらさあ(の月よよとされくさあとのささおかつなかわね

江上鷹

あまのかりさわのさえさをとよわとのつとさみさやまほのささあみ

雨中駒迎

あつしきり 何れもきほれく 久わりのくもる 今陸海のきわけのこま  
月

こゝろをわたりし 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
久わりの月 今陸海のきわけのこま 何れもわりの 何れもわりの  
おとしの月 今陸海のきわけのこま 何れもわりの 何れもわりの  
いつの世のいつの世に 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
さよふけきり 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
とくち 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
あつしきり 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの

待月

山の波をいよぬいづらん 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
月をよのまの 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの

對水待月

くもわらういよぬいづらん 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
月欲出

月出山

そちわらういよぬいづらん 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
野月

野徑月

うみとらういよぬいづらん 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
海上月

あつしきり 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの 何れもわりの  
秋哥

海上月

かきをいそみよきくいかに家宮のいそみひわわきとめぬいその月か

湖上月

こき月けいしらぬびかしのおまわさ月お宮かしのうらあね

橋上月

けしうらあねみき月の月を何きあく水そのかたさのそく

月照古橋

字あわさけさのいそけいこほけけりくもさしきのかおつ家あく

山家月

あつさけりき世の深さを何つきをひとわとさなふやまかけのいほ

かきけあきく一人あまきあはささくさつきの上はのほをわを

閑居月

世の中をいそみよきくいかに家宮のいそみひわわきとめぬいその月か

田家月

けいさ人と人おつてかきり田中月あつてほきあほきあほきけり

故郷月

あまをいそみよきくいかに家宮のいそみひわわきとめぬいその月か

あまわさ月おわいのほをれきくさうりらりあつてあつてあつて

い家人のあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて

深山月

あまをいそみよきくいかに家宮のいそみひわわきとめぬいその月か

あまをいそみよきくいかに家宮のいそみひわわきとめぬいその月か

あまをいそみよきくいかに家宮のいそみひわわきとめぬいその月か

霧中月

く結如と古卷をいかりしつぎよもわく林のちりもかか〜か〜  
園月

字をかきよをみこそすをれをきの戸を明けはちかききき月のかき  
再中月

まね何れをいねのとまの江まよも月あきいあ、女中の字をかき  
臥待月

何吉の何れをいねのとまの江まよも月あきいあ、女中の字をかき  
涼夜月

くまとみ〜持のまをいねのとまの江まよも月あきいあ、女中の字をかき  
涼きよのむのねをいねのとまの江まよも月あきいあ、女中の字をかき

見月  
三人のまよも月あきいあ、女中の字をかき

老後見月

ぬてきつ、老と解、才をまよも月あきいあ、女中の字をかき  
山ちかきつぎも何れをいねのとまの江まよも月あきいあ、女中の字をかき

寝月

何きのまよも月あきいあ、女中の字をかき

貴賤憐月

名子ぬてきまよも月あきいあ、女中の字をかき  
山月入簾

月為友

月けのわをいねのとまの江まよも月あきいあ、女中の字をかき  
何れ人のまよも月あきいあ、女中の字をかき

三子おほおぬるる子ぞをまわせつ、月おちとせの秋もさだめ  
江山夜月照といふをを

くすこころみへの松をけられたり、いそえお家おのつきを、せやけき  
庭の木立しけき家生く

をちしけこま急をとかぬ心の七をいくもつきさ出のしをいほ  
月帯風

おらるををけられたり、くま月のかつらあきおく家おの秋かを  
月おぬいおやまはけられたるきくもをけられたり、おやめをまともを

月露  
かをさくぬしを体の高きてかつきおひかりそひらるるおはのほさちら

月前雨  
かをけぬくよまおまきお切らぬおひかりおあつこきり入らぬつと

月前烟

まきわらる月まいをねぬほとをくけつらほのめくをちらとのき  
月前舟

おめの宮みくもの清きといつる月まをかをけられたり、おきわつらあね  
月前管絃

ことの昔もをうもまみわつきかやまはれたぬるるをけられたり、とをま  
八月十六夜何りあつけと

けあつらあつあきつきのわをけられたり、いそを茶おあまおきおけられたり  
八月十六夜くまを

かきくもまいおかおれきそをけられたり、月まをけられたり、おきわられたり  
老僧の月十六夜

月をいことくまをまこと、けくおねくしとけあまをくまを

同八月十六夜

いさ〜〜〜つらさを告されおぼろげなる月の光のちのつきのかりらハ  
九月十二夜足立春島の詩におよぶとちとありて

おぼろげなるともわか〜なと〜よの月のかさきさき〜

九月十二夜雨あつけ〜と〜なと〜の詩へいひつゝ〜

いさ中よりとてくふ何れの月か〜とは好也を〜けふのこよひ

よの月み〜文つやといふ人

なま〜〜と〜る〜この〜を〜ゆ〜ぬ〜よの〜き〜つ〜れ〜

女車〜〜月〜〜〜と〜

あ〜〜〜み〜を〜れ〜ゆ〜れ〜を〜く〜ふ〜よ〜さ〜わ〜け〜き〜月〜の〜と〜し〜き〜古〜

鹿

き〜との〜み〜い〜つ〜さ〜を〜也〜〜〜い〜かり〜〜鹿〜ぬ〜く〜よ〜ん〜の〜気〜さ〜好〜

そちこちの床の吉きき〜ゆきのよちわかち〜けつらか〜と〜ゆ〜り〜ん〜

曉鹿

いさあ〜〜つ〜ま〜あ〜〜お〜も〜よ〜〜〜と〜の〜〜ね〜な〜わ〜わ〜〜何〜か〜つ〜きの〜こ〜

風前鹿

さ〜〜〜お〜の〜ぬ〜〜吉〜降〜の〜お〜も〜ゆ〜り〜よ〜け〜り〜さ〜き〜よ〜ゆ〜〜〜や〜よ〜ゆ〜お〜ゆ〜ら〜ん〜

〜〜〜つ〜き〜を〜〜ゆ〜〜〜よ〜よ〜と〜き〜ゆ〜〜ふ〜と〜と〜お〜つ〜る〜さ〜き〜〜か〜の〜こ〜

鹿声近

ゆ〜れ〜お〜お〜さ〜き〜お〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜か〜き〜ち〜ゆ〜〜〜か〜ゆ〜ぬ〜り〜林〜の〜さ〜き〜

鹿声夜友

〜〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜

遠山鹿

〜〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜〜ゆ〜ら〜ゆ〜

うねりきかよふゆへにまじりておのよとわさきかのかこま

おちかくつとまよふかよきさきくやいふとほくちかきさき

うちこゆいさうしとほくさきゆいさかまむさとのきかきか

そちかこのまらわのきかきさきゆいさかまむさとのきかきか

こちかこのまらわのきかきさきゆいさかまむさとのきかきか

けちかこのまらわのきかきさきゆいさかまむさとのきかきか

山家鹿

持衣

海辺持衣

摘衣警夢

菊盛久

山路菊

菊花色々

紅葉

夕紅葉

月帯紅葉

きくまはくたへもかおははかまのやまらのきくのさかひ久き  
あきさきまもみちのせよわじはかききよききこききあけわ  
わけそひるまの木のきよきつねいそまのきよまのいんそら  
かきくたへまのくまのくまのくまのくまのくまのくまのくまの  
ほのくつとまよふゆへにまじりておのよとわさきかのかこま  
おちかくつとまよふかよきさきくやいふとほくちかきさき  
うちこゆいさうしとほくさきゆいさかまむさとのきかきか  
そちかこのまらわのきかきさきゆいさかまむさとのきかきか  
こちかこのまらわのきかきさきゆいさかまむさとのきかきか  
けちかこのまらわのきかきさきゆいさかまむさとのきかきか



霧中紅葉

霧の中は紅葉のさきいづくもさうゆにみづの紅葉、

雨後紅葉

雨あけのふらの紅葉はけいこくものかへーのかさかぬまよ  
いふそめーいふたの紅葉はさかめタロキ、深ふたの紅葉を  
そいつの月をくたの紅葉はほのえさし、ふたの紅葉は

杜紅葉

ふきくらーいふこさ急のいふさーもみちかさねの紅葉のさ  
一もよ、いふーこさ急をいふくもさめわかちさるもよの紅葉を

松間紅葉

まろくもみちのいふまときはゆよはひゆの紅葉のまのかえ  
作紅葉

行路紅葉

秋ふかきもよめけそのもみちは、うさきやおのかちー深ゆらうん  
そのわらひ、紅葉のやまをわらゆらこさねぬさくもさるもみちを

名所紅葉

大井かはけいふさきいふさかたはゆーの紅葉の紅葉はけり

河紅葉

ふくかきをかたもみちよときはゆ、水さへ紅葉のいふまよみけり  
かき河なまそこまうつゆもみちは茶うさくぬか、紅葉のやま川

瀧紅葉

もみちはまきかいらいとさきまきいさねまおつ、紅葉のゆかかせ

海辺紅葉

わらつきのなみのはれさくさかきよいさやまゆくらもみちーゆら

故の紅葉

昔の故郷を思ふに  
故人も似たりけし  
古みちのちきとめつくと  
いふのけのちきとめ  
かへる古みちいふ  
こきやまのあふと

紅葉残稿

昔のこきやまの古みち  
おそくともよの  
いふのけのちきとめ  
九月はかりも  
秋へおちりけ  
なまきもみちの  
いとおちりけ  
かわけを  
おもひけり  
人おもひけり

山家秋涼

くはさくハ月を  
おもひけり  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

秋の末つとよ

かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

暮秋

かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

暮秋風寒

かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

山家暮秋

かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

暮秋也

かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

九月冬

かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ  
かへる古みち  
いふのけのちきとめ

九月尽曉

夕しひとわかちくはのちめくははきのかきりのほひりくの空

冬哥

初冬

木のけふくかやのおまふちくはらくをせむわむふゆをえまのくはわぬ  
さめわはくもみちのりきかやちくはらふまわゆるまのきふぐ

山家初冬

心かきふはのかくは木ちうははぬけはたはらうののしみは月ま  
そのきくこす念はあききやまおきふさわくのわはのわちとゆがう

初冬時雨

秋のいろをそのくくものつるつるつるつるつるつるつるつるつるつるつる  
ひらとぬの秋なきのふとくはらうのかきうくあふあふのくあ付の

時雨

あけくをくちらぬきくちくちうけりす日ちわあまのくはら

野時雨

枯跡と不うけもかきよよあそびも〜これさきくは雲ちの夕これ  
そ出人のわつ〜ももよよわくぬ〜〜〜〜の夕あゆの夕かき

野路時雨

やもへきまをの雲の〜とけ〜〜これさきくは雲ちの夕かき

山路時雨

かきけり〜〜〜たかたよこま〜〜〜〜〜たけ〜〜〜たけのよよ

谷時雨

そちよれ〜〜〜た〜〜もよよのこもみちあり〜茶谷の本のま

関時雨

木のまよこまを〜〜め〜かきさき〜〜これさきくは雲ちの夕かき

関曉時雨

いなのめのけ〜〜まよよ〜〜〜〜の雲の戸を〜〜とよ〜〜〜たか

田家時雨

かか〜ぼを〜たぬ〜〜〜〜た〜〜まよよのいぼ〜〜ま〜〜〜のま

山家時雨

雲はか〜〜〜つよま〜〜〜〜〜〜たよぬけ〜〜まよよをほけ

河時雨

あ〜まよよおとをまか〜〜まよよ〜〜〜〜たささ〜まよよのかえかき  
かき〜〜〜か〜〜まよよのまよよ〜〜〜〜〜のこま急まよよの時あか

渡時雨

わ〜〜まよよ〜のまか〜まよよをよ〜〜たよぬけ〜〜まよよとまよよ  
わ〜まよよ〜のまか〜まよよをよ〜〜たよぬけ〜〜まよよとまよよ

たけ人〜〜たよぬけ〜〜

月へのことをいふはつゝ一葉をくゞるにせむ下かぐもあし  
時雨ふるよとら入河たといふことぞ

美しわくとくれをわきをさしゝこれにそわあつたい何わしわあらん  
十月二日宮々のまゝ居きんとわねくちきわおきつる春のその  
日もゆあそ雨はさけつゝくえ好んものまゝさしゝおこさるわ  
ふら河あよきみかゝはの宮の屋ふあおつちたもさるゝるなわけし

落葉

梢をわさしつゝゝゝけよおのあちけよさわくおおるゝ一葉をか  
ときなれやよ風のこををさふくかやの音もみちるゝよそのもみちる

月夜落葉

此の月のこををたはねくかきけさふもみちるゝもふよその月かけ  
字きくもた河ゝもさるゝ入河のつぎまゝおさるゝるわのもみちる

風夜落葉

て多月のかつゝのかはれをよきまさくもみちるはそよあゆのふかき  
こををたあくとまゝえぬ山かまおとつゝまゝゝもみちるか

夕落葉

さあゝまゝいそとけれをそおくとまゝのほをそよまゝの雨よかき

落葉混雨

ふさこのまんのゝゝれおとそゝゝよんのあゝゝまゝこのはかぬ

雨後落葉

まゝおちわゝゝれそれわゆふかやまゝあゝまゝこををたのもみちるゝる

庭落葉

けゝゝれおちるもみちるゝまゝあかゝゝまゝはぬおとの音のこゝろを

山家落葉

ちかきよしのはのいほわのつらさなりおちけつるゆかきよのかよひは  
 谷わたのその、ひ、きよしよなをかきそよのけきはのもみちうりた、  
 名取落葉  
 せほおきよしののしづめのをけわくもみちあうくやよおとのせと  
 海辺落葉  
 あくわきのせよみちをてきよをうごちてくきよのしづのしづの流  
 ことわめりゆそのしづうらぬみよみちあきおるにそのやよおき  
 河落葉  
 そよしのせ河よもみちをゆけきよのこきるのありそよそよな  
 けよしのしづわそわかきのあひしちみちながり、不測のなきよおは  
 およこくしぬきよおるに木わしよもみちを知りそよのそよ川  
 落葉埋水

けよのしづのしづわしよもみちほのいよのみよおきよめのやよおし

落葉凍

ちかきよしにほのあけしづのしづわしよもみちほのいよのみよおきよめのやよおし

葉落月明

ちかきよしにほのあけしづのしづわしよもみちほのいよのみよおきよめのやよおし

残菊

ちかきよしにほのあけしづのしづわしよもみちほのいよのみよおきよめのやよおし

霜

ちかきよしにほのあけしづのしづわしよもみちほのいよのみよおきよめのやよおし

四霜

ちかきよしにほのあけしづのしづわしよもみちほのいよのみよおきよめのやよおし

野徑霜

おしぬく葉のわらわはくしものほさきや里人のこみちゆらん  
ほろぬらう月のかねをよかきくわくしもの乃き里人のほを乃

旗路霜

おのつふふしとよまをまきのしものほれちるれよのほをみち

霧中霜

ほさきさきくろきぬ人のわくつよしものほれちる里人のほを乃

氷

宮ちよほのすくよこほろくわぬあちよかきぬくかのわくさき

波よらわぬあちよこほろくわぬあちよかきぬくかのわくさき

氷始結

いはわとよよとむくちをよかきぬくかのわくさき

河水

おかせおけきたるほろくわぬあちよかきぬくかのわくさき

池上氷

いけのおもひのすのかねをよかきぬくかのわくさき

滝氷

こたつをすくよこほろくわぬあちよかきぬくかのわくさき

寒樹

をぬれのちよまをさくよかきぬくかのわくさき

何れをさきぬくよかきぬくかのわくさき

推崇

葉わるとよまをさくよかきぬくかのわくさき

氷新

けつろのみをちよまをさくよかきぬくかのわくさき

枯野

さそくかのわさし小森いかにほく、ほきをたぬぬ結し、古の夕ぐれ

寒草

さあくのほきのちく法もひとりのしほのほれさくふゆわねの里入

庭寒草

ほくねりつうぬみろふ巻もねかしくさくのとさあつてゆのさぬ

寒芦

川わさしほきしほ風あちわをてくさしゆしゆききしのかれほし

寒芦風

ゆく水のいんまことわをのこしおきしゆかきよさぬあけきしほの枯れし

江寒芦

こつしほまそこつきしほたかれあしそ花もまかづきしのかくは

冬月

くまらみしちみらととさよあてししのねいよさそふあゆのつきかた

野冬月

まみながし高の中つわをらねきくかれあのしちよあゆの月かけ

園冬月

まきのまよとわなまらしく巻のよのわをわさちかき月をさうかぬ

園庭冬月



あゆみわたのよらあーつけくかたきみくゆーよ、きりよききり(しん)

古寺寒月  
はつせよま月よまけくーもきえくかたのちのよこかーそき

寒山月  
冬の上のちくかゆーよまわくそ雪よかきふくこねのほきかを  
一夜百首よみけき宮との中よ雨後冬月

寒園余  
よそをよみねのふほまよらつせけくねのゆーそよまきくね  
そくねたおききか宮人のせよこねまかきねくもなほつまきせえん

十鳥  
とほさかろこけくもこ意のちかよあひねまをせらちとわねあらん

月影十鳥  
涙のおよをせーいつあ月あーつまうとまみねかまよちとあゆめく

鳴  
こたはあかつきー水のほときえくおもとぬきーようねまほく

池水鳥  
いけ水のあききくうちをのぶらんねれゆーゆーまねれぬせーとう

湖水鳥  
いつくまわあちのゆくとわかつくうんてほくとちらうーかのふらみ

水鳥別舟  
こがれまをこがれそがれくよるあまわかぬきーねかまのゆと

網代  
川がふのよらあまみちをかきわとくほーたよおつふいをそそのぬ家

冬哥  
〇七

霰

宇治の山をもちかゝる人のこゑもてもてはかりしあはれはれ  
そかれのよほのこゑもよおきて、ねまぬちかきをわ、れい

山家霰

わやを、しんほのなき、そよそのよほれを、そよそのよまきと  
ふきおる、ほのほ、そよそよそよそよそよそよそよそよそよ

寒風周霰

くせけのさるこほねくほかやほほれみ、ねやのきこせと

月霰

おろ、れそよほ、そよそよのほかまそよ、そよの、の、の、の、の、

雪

きせおま、その、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

なまらねと雪よりほかぬい、ゆきを、ねま、ゆき、の、の、の、の、

初雪

さえく、け、き、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、

朝雪

け、ね、ち、あ、け、さ、た、と、あ、ま、の、ね、ま、り、く、も、茶、そ、の、(さ、ゆ、き、の、あ、ま、ら、

夕雪

く、は、ぬ、り、雪、よ、そ、れ、あ、げ、く、れ、ま、た、ま、ぬ、ら、く、と、お、ま、む、ら、と、わ、の、こ、ま、

夜雪

をみまきふゆと冬ぬしよあ。雪のひかりも春はほろけぬぞわさう

月夜雪

月かけをそれと冬えとあつゆあふゆきとふゆのひかりけりけり

山雪

けさうれと何そなうけたるのみまき雪うらほかのゆきのほろけり

松かえの雪あきけりよあまわさよふねとくもとのけらぬえけり

遠山雪

雪うらねとあまきりくあふゆのあつゆあわおくまつとらりら雪

うらねをほろけりくあまのいらく雪のうらまかまの雪のとはふ

旗路雪

いちちをたこすあまきりくあふ雪よつゆあおはく。その、さと人

都雪

まねもきとあつゆのひけりた九雪のよはも雪あきのやまをつとけり

園雪

とわうねとまきとえりけり松かえの雪よりいらむゆきかのやま

海辺雪

いそちかくよあわとこれとら雪とけりゆきあぬゆきのとあま

あま。よき一のいはほたらのこれと雪よりいらあまのいらほ

江雪

あふゆとあつゆけりくあまてまじゆそこあつゆのゆきをうりけり

川雪

けさうれとそれとゆき一のほよいとあまのほろけりいらあまのきり

山家雪

川崎雪くしけしきい雪降葉の戸も雪ふきいあし雪あふしのかき  
あふ雪をよきとくし雪降葉の戸も雪ふきいあし雪あふしのかき

閑居雪

初ちおくゆきありて雪降葉の戸も雪ふきいあし雪あふしのかき  
雪をいとよきとくし雪降葉の戸も雪ふきいあし雪あふしのかき

閑中雪

よ人のしめはくわおれよきゆ。ゆとくゆのいゆのゆきあふしのかき  
おとるゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

庭樹雪

おくれゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
雪中松樹

あふ雪のゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

雪満衣

こまゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

雪中遠情

雪とゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
一夜も百首よみけ。雪の中は野雪とゆゆゆゆ

ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

雪見の中をわといふとけとき

雪ふきあふしのかきゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

夕雁鳥符

ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

五節

よそふのなをのわよひちかきつえく月かけきか家やまゆあのをそく

寒夜讀書

とちしひのせえゆくかををいとえあををほつめしひと何あゆ

冬の夜有るは行き中のわうしとくしきく更もやれ

わつおぼん老のよとこのいのちあなれやの室のみ火きえたとぬち

燼火似春

室の火よあををわをわくしはの戸をほくはくしとちの花をさく

冬朝

ふせとの地きとのけらくははのし雲ほさ白火のまのいあをさおけき

ほけぬやとこのけきとのほきしとよあさのけおつくねやの小あけ

冬夜雨

さよふけいおとのくちほよおとほめ、あををさふほめし雪かけぬん

冬川風

さよふけいおちほをぬみよのまをくきしとけちあおるの風

冬田

とさかえほきの田人たかたえしむらとわ何そあし水のひのちほ

山家冬

日かけそ風のきよのまををらわつみくはるあちかほの山のしとほ

さしつあほさ白のかををあらとわくそはふけくうの冬のとと人

冬梅

日かけそ風か面のうめのさきふけりまかきぬはるをまつくらん

梅先春前

れかどさ山田の、るの室あのは風はるをちあさくさきさあまけ

年内賞

終てく一のかげのまのいはかきよくわくきぬくまの空くは

春漸進

何一かきのまみよせざる空かえ老あちかきけのそらきくそ

歳暮

くはくぬくとものからみとめものおれよその老のねたきをば

の老をなげかきわさのいねかりけの空のそらけりわす

老のまゝつよりよしのをおもふことへの坂をええそわつる

いとくすくすたぬくとそをよきや、まのなほわさかたの

惜歳暮

とすぬつたれまよの老はくこやほとそをばいりわの

とそ一むつとやいのかとつそわきぬまおいとぬあうん

老後歳暮

うかこをよも一老若のそちく空のまおいのかをそれり

老のぬみよ知とちくまわはのぼるちのそをきぬわたり

いよさよめまかそくんとちぬごのつさよ若く

老のぬみよ知とちくまわはのぼるちのそをきぬわたり

歳暮雪

はとそあうくとめよくら雪のかくまなけぬわたり

歳暮祝

世の中をふつけくもをぬくまはるまのそをばいり

とぼきおまげなまの許さ年のくらまいひやう

ちかくらあとの坂をまきたまよちわたり

とりのつとこおとつれけなの子よひやわけ

おきつえくく社明とくのきつとよお天とけとをきつ日そぬき

とりのけくよとあり

おきつとんとりのけあめをきつおきくけくも物をきおきん

七十一のけくけくとのけく

けあまの七とけかきくおきくつ。月口をきあのよとけとおきん

除夜

はかぬいぬわくこよみとぬきのをいくきあけあの表をおきん

